

【平成17年度「専修学校を活用した職業意識の啓発推進」】

事業名	「職業教育の日」記念事業 NIIGATA JOB WORLD 2005 「しごとフェスティバル」		
法人名	社団法人 新潟県専修学校各種学校協会		
代表者	会長 渡辺 敏彦	担当者・連絡先	〒950 - 0916 新潟市米山3 - 1 - 54 新潟デザイン専門学校 加藤一人 TEL025(245)3381

<事業の概要>

NIIGATA JOB WORLD 2005 は、高校生・中学生、若い人たちが早い時期から職業に親しみ、自らの職業生活を設計し、将来にわたって充実した職業生活を過ごすことができるよう、教育の観点からその意味を共有し、また伝え、そして専門学校生・高校生・中学生等が、さまざまな職業につく意識を持つ機会とする。多くの県民への職業意識の啓蒙および、専門学校が果たす職業教育への取り組みを知ってもらうために「職業教育の日鼎談会」（紙上座談会）を実施。

新潟日報紙上（7月10日朝刊）での、職業意識の啓発の為の鼎談会（座談会）特集記事の掲載。

- ・新潟県知事・泉田 裕彦氏
- ・新潟経済同友会代表幹事・原 信一氏
- ・社団法人 新潟県専修学校各種学校協会会長 渡辺 敏彦
（上記の3名により、新潟県庁 知事室にて鼎談会を実施）

鼎談会では、それぞれの立場から、新潟の若者像、仕事観の変遷・職業教育についてなどの貴重な意見を頂いた。

鼎談会の記事（全15段）は、新潟日报社より二次使用の許可を受けて印刷をし下記の通り配布した。

- ・県内の高校各クラス （132校 6,600部郵送配布）
- ・市内に中学校 （58校 580部持参配布）
- ・当イベント参加校 （2,320部配布）→専門学校進学希望者向け
※残り500部の内、450部は企業に配布（50部は資料として保管）

関連事業としては、

【平成17年7月11日（月）新潟市民プラザにて専門学校職業体験フェアを実施】
参加各校が様々な仕事を実際に各ブースで紹介。見て・触れて・体験して、仕事内容を理解してもらった。

・・・ 参加者数： 高校生 337 名・専門学校生 527 名・一般 34 名 合計 898 名 ……

<成 果>

県民への職業意識の啓蒙および、専門学校が果たす職業教育への取り組みを知ってもらうため「職業教育の日 鼎談会」を実施。紙上鼎談会では、産・官・学の各立場から「働く楽しさを見つけよう」をテーマに貴重なアドバイス頂き、職業教育の重要性と職業に対する意識を専門学校生・高校生・中学生及び、その学校教師及び保護者に持ってもらうことができた。また講演会ではなく新聞ならではの効果で新潟県内50万部の購読者にも職業教育の重要性をアピールできたと考える。特に高校へは、各クラスにおいての掲示や配布を依頼し、職業教育の一助して頂いた。